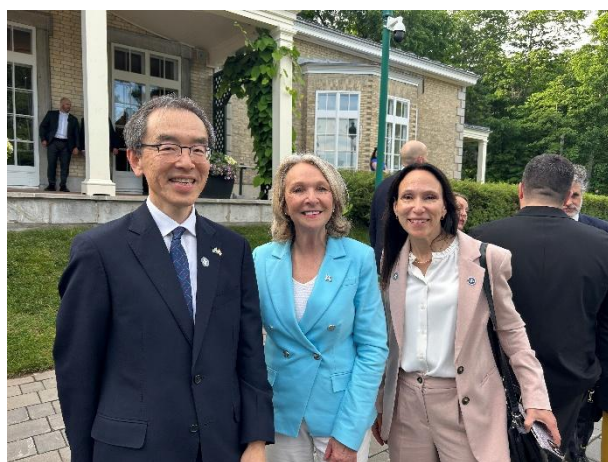


ケベックのすがすがしい初夏のなか、みなさまはいかがお過ごしでしょうか。6月は、ケベック州の記念日や、日本文化関連行事など、各種行事が目白押しでした。

●ケベック州記念日式典

(1) 6月17日、ケベックシティにて、フレシェット州首相主催の恒例のケベック州記念日レセプション (Fête nationale du Québec) に出席しました。打ち解けた雰囲気の中で、同首相や各省大臣等とくつろいだなかで話を交わすことができました。州政府幹部、公企業関係者、各国総領事、名誉領事等が多数出席し、首相スピーチのあとは、皆さんが和気藹々と懇談し、楽団の演奏するケベック民謡を楽しんでいました。国際関係省含めケベック州政府のおもてなしに感謝します。



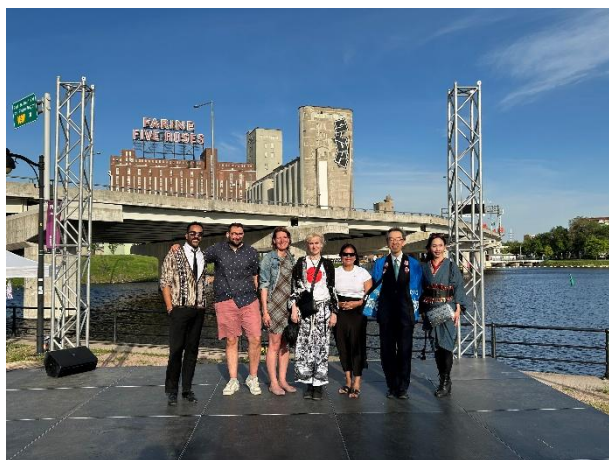
(2) 続く24日、マルティネス・フェラダ・モントリオール市長主催の市庁舎でのケベック州記念日式典に参加しました。同市長に対し、広島市と姉妹都市関係にある同市主催による毎年の平和祈念式典開催に謝意を表すると共に、日本との関係をさらに発展させていきたい旨述べました。また、ケベック州・ルロー社会連帯・コミュニティ活動担当大臣兼モントリール地域担当大臣、マロワ・ケベック大学モントリオール校 (UQAM) 総長・元ケベック州首相等とも懇談しました。



●ヤタイ・モントリオール

6月4日から7日まで、恒例の「Yatai MTL」がモントリオール市内にて開催され、来賓のケベック議会議員、モントリオール市議会議員の方々と共に、オープニングで挨拶をしました。会場には、各種日本のストリート・フード、日本酒、お茶、調味料や、アクセサリー、書道、陶器、服飾・着物、文房具など、数多くの屋台が軒を並べ、延べ32,000人の多くの来場者でにぎわいました。またステージでは、コンサート、ダンス、武道などが披露されたほか、今年は新しく屋内でも和菓子やお茶のワークショップが行われました。

当館は、地元の方々が多く来場するこの機会を捉えて、日本文化やJETプログラム、国費留学生などを紹介するブース出展を行いました。訪日・観光情報についての問い合わせも多く、日本に対する関心の高さが伺えました。ボランティアの方々のご尽力に敬意を表します。



●生け花デモンストレーション

5日、小官と、配偶者のクリスティーナ・イオリ（いけばなインターナショナル・モントリオール支部名誉会長・在モントリオール総領事配偶者会会長）は、いけばなインターナショナル・モントリオール支部の全面的なご協力を得て、同支部の幹部から、ケベック国際関係省幹部、在モントリオールの他国総領事や総領事配偶者会のメンバーに対して、いけばなの歴史、その魅力等を説明し、また、実演を行ういけばなデモンストレーションを実施しました。参加者の方々は、同支部の幹部による説明や、花きがある場で見事な作品になっていくプロセスに感嘆の声を上げていました。いけばなインターナショナル・モントリオール支部の協力にこころより感謝申し上げますと共に、同支部による いけばな文化の普及活動に敬意を表します。



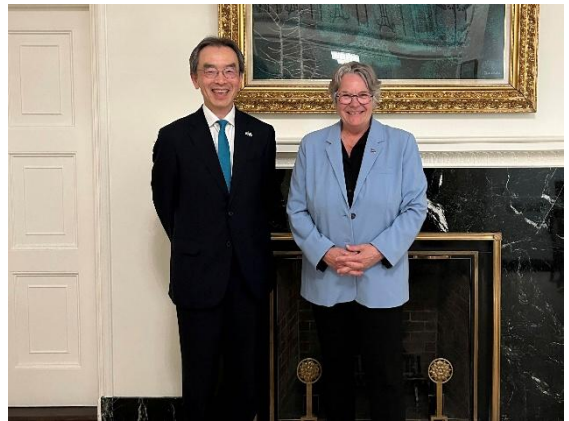
●ケベック・日本ビジネスフォーラム（QJBF）年次総会

10日、ケベック・日本ビジネスフォーラム（QJBF）の年次総会が開催され、挨拶を行いました。また、当地出張中のマリオ・ジラルド駐日ケベック事務所長が、高市内閣の日本成長戦略本部で定められた「戦略17分野」に触れつつ、ケベック州企業による日本におけるビジネスの可能性について発表を行った後、同事務所長及びケベック企業関係者等を交えたパネルディスカッションにて活発な意見交換がなされました。総会前に開催された執行理事会では、約2年間会長を務めたエングイエン氏の退任及びラヴォワ・ガニョン新会長はじめ新役員及び執行理事メンバーの承認が行われました。当館は、引き続き日本とケベックの経済関係緊密化に尽力して参ります。



●ルロー社会連帯・コミュニティ活動担当大臣兼モントリール地域担当大臣との面会

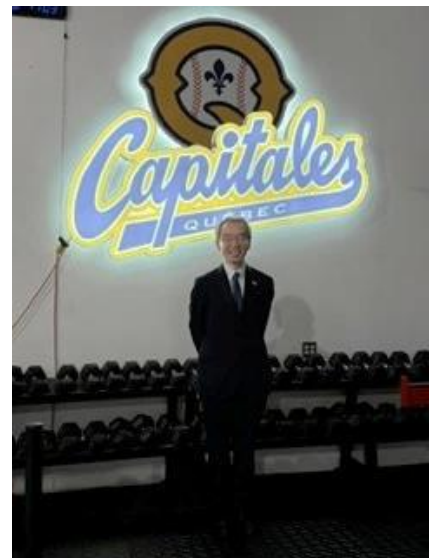
15日、ルロー社会連帯・コミュニティ活動担当大臣兼モントリール地域担当大臣と面会し、ケベック情勢等に関し幅広く意見交換をしました。ルロー大臣にモントリオール地域も担当されており、3月の天皇誕生日レセプションでケベック州代表としてご挨拶いただくなどお会いする機会も多いです。



●野球：Les Capitales de Québec

ケベックと言えば、ホッケーが人気のスポーツですが、野球チームもあります。東カナダのリーグでは、ケベックシティに加えて、Trois-rivieres とオタワにもチームがあるところ、18日、ケベックシティの Les Capitales de Québec チームの本拠地に行って参りました。多国籍の同チームにおいて、日本人ではコーチの方1名と選手の方4名が活躍されています。これまでも、日本人投手などが活躍されたそうです。

この Les Capitales de Québec は、1999年から27年にわたる長い歴史を有するチームで、これまでも何度もリーグ優勝経験があるとのこと。当日は、監督やコーチを務める Charles Demers 氏、Patrick Scabrini 氏などに迎えていただき、練習風景などを視察することができました。ウインタースポーツに加えて、野球に於いても、日本人選手とケベック州の絆（きずな）があることに、日本とケベックの交流の裾野の広さを感じました。同チームの皆様の温かい歓迎に感謝すると共に、同チームのますますの発展や日本人選手の方々のご活躍を祈念します。



●ラウラ・ヴィーゴ・モントリオール美術館キュレータに対する在外公館長表彰

19日、モントリオール美術館アジア美術・考古学部門キュレータのLaura Vigo氏に対し、在外公館長表彰を行いました。Vigo氏は、2008年から同キュレータを務め、これまでモントリオール美術館における日本美術に関する常設展や特別展の企画・実施、美術品の保存にかかる日本の関係機関との協力、講演や論文執筆等を通じ、当地における日本芸術・文化の振興に貢献されました。Vigo氏のこれまでの活動功績に敬意を表すると共に、心から祝意を表します。



●ケベック州立モントリオール飲食・観光職業専門学校

23日、ケベック州立モントリオール飲食・観光職業専門学校を、ボアヴァン学長の案内の下、視察させていただきました。ITHQと並んで、こちらもたいへん施設の充実した学校で、外国から学びに来ている学生も多いとのことでした。同学長と、当地における日本食普及等に関する協力について前向きな意見交換を行いました。



●ケベック国際政策の発表

16日、ケベック州政府による国際政策が発表されました。同政策は、日本についても言及すると共に、インド太平洋を経済的・地政学的な新たな重心として、多様化のための重要なパートナーとして位置づけています。日本とカナダは、自由、民主主義、法の支配、人権といった基本的価値を共有するインド太平洋地域の重要なパートナーであり、「自由で開かれたインド太平洋(F O I P)」の実現に向けて、引き続きケベック州とも連携していきます。

●日本の外交青書

前回のメッセージでお伝えした外交青書2026年版の要旨(第1章)英訳が、外務省ホームページに掲載されました。「自由で開かれたインド太平洋」に関しても触れられています。

<https://www.mofa.go.jp/policy/other/bluebook/index.html>

9月末には、英語版(全文)・仏語要約版も外務省ホームページに掲載される予定です。

*上記の他にも、日本やカナダの様々な方や団体の関係者と意見交換などを行うことができ、大変有意義な期間でした。

*本メッセージは仏・英語にても、メルマガ読者に配信しています。